

琉球弧の島々を最前線／戦場の候補地とする、南西重視の再編と大軍拡。中国の脅威が叫ばれ、尖閣諸島や台湾海峡の危機が演出されるが、尖閣・台湾有事に備えるためではない。地対艦ミサイル部隊を主力とする、挑発的／攻撃的な海峡封鎖を主目的とし、米軍と共に、西太平洋地域での覇権強化を目指す。

自衛隊の南西シフト

自衛隊のミサイル配備に加え、琉球弧を含む「第1列島線」に、米陸軍・海兵隊の地対艦ミサイルや中距離弾道ミサイルの配備も計画中。「精密攻撃ネットワーク」構築が目論まれる。平和な島々を使って、巨大な軍事対立構図が描かれつつある。

日本全体でも(↓埼玉県の一例)入間基地の拡張と自衛隊病院建設
南西シフト態勢の一環…琉球弧での有事を想定した後方輸送体制。(建設中)

佐世保 …相浦駐屯地 他
日本版海兵隊…水陸機動団(陸自)
2100人規模で発足(2018.3)
「島嶼防衛作戦」では「離島奪回」を担う。オスプレイ17機 水陸両用車52両他
2019.3.26 「崎辺分屯地」開設

馬毛島 …現在は無人島
2021.3 アセス手続きまる
陸空自+米 統合巨大基地化計画
●南西シフトの兵站 輸送 機動展開拠点
●日米のFCLP (艦載機発着訓練)
●島嶼戦争を想定した各種訓練、等…
2本の滑走路、弾薬庫、巨大軍港を備えた、全島基地化が目論まれる。

奄美大島 2019.3.26
「奄美駐屯地」「瀬戸内分屯地」開設(陸自) ※現在も工事中
地対艦/対空ミサイル部隊、警備部隊 他
●地中巨大弾薬庫 建設中 560人配備
●移動警戒隊(空自) 配備計画
●電子戦部隊(陸自) 配備計画
●湯湾岳に通信所施設(空自) 建設中
●兵站拠点化+古仁屋港等の軍港化計画
●毎年島内全域で行われる大規模演習「鎮西」(江仁屋離島の着上陸訓練他)

自衛隊の南西諸島等 配備・増強計画

湯布院駐屯地 玖珠駐屯地 水陸機動団 新部隊編成

佐賀空港 オスプレイ 配備計画 (木更津に暫定配備)

陸自 健軍駐屯地 2021.3 電子戦部隊発足

空自 新田原基地 2020.9 米軍施設建設 (弾薬庫 駐機場 他) 着工 空自 F35B 配備計画 日米共同作戦の拠点化へ

種子島 くり返される一般海浜等での上陸・展開訓練。馬毛島のベース・キャンピング 軍事拠点化が目論まれる。

臥蛇島(現在は無人島) 上陸・戦闘訓練場 候補地に

徳之島 自衛隊移駐への動き…

日米の共同使用 ~自衛隊基地の確保

高江(米軍北部訓練場) 辺野古 米軍新基地建設へ

勝連分屯基地 陸自補給拠点に 地対艦ミサイル部隊配備計画

2015~2016 種子島、沖繩島、久米島、宮古島、石垣島に、準天頂衛星システム管制局設置→ミサイル誘導優勢

宮古島 2019.3.26 ※現在も工事中 「宮古駐屯地」開設(陸自) 地対艦/対空ミサイル部隊、警備部隊 他 ●他、島中で軍港化… 約700人配備 2021.4 ※現在も工事中 「優良訓練場」(ミサイル弾薬庫) 開設

石垣島 2019.3.1 着工 新基地建設工事中(陸自) 地対艦/対空ミサイル部隊、警備部隊 他 600人配備計画 ※2022年度内開設が目論まれる！

与那国島 2016.3.28 「与那国駐屯地」開設(陸自) 沿岸監視部隊 他約160人配備 巨弾薬庫 ▶今後ミサイル部隊の配備も? ●東西2ヶ所にレーダー施設新設 ●移動警戒隊、電子戦部隊等配備計画

※配備人数/部隊はあくまで計画の第一段階。今後、数倍規模への拡大が予想される。

2021年12月改訂版

鳥島 スクランディング